

第25回日本臨床スポーツ医学会学術集会 ランチョンセミナー5

# 市民ランナーのメディカルチェックに 心臓のBNP検査は有用か

座長 **河邊 博史** 先生  
慶應義塾大学保健管理センター 所長

演者 **真鍋 知宏** 先生  
慶應義塾大学スポーツ医学研究センター  
専任講師



日時 2014年**11**月**9**日(日)  
12:00~13:00

会場 国立スポーツ科学センター・  
ナショナルトレーニングセンター  
ナショナルトレーニングセンター 1階  
大研修室〔第3会場〕

〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1

## 【共催】

第25回日本臨床スポーツ医学会学術集会／塩野義製薬株式会社／東ソー株式会社／株式会社  
LSI メディエンス／アボット ジャパン株式会社／シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式  
会社／積水メディカル株式会社／富士レビオ株式会社

## 市民ランナーのメディカルチェックに 心臓のBNP検査は有用か

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 専任講師 真鍋 知宏 先生

マラソンは本人の健康増進に寄与するのみならず、沿道で声援を送る多くの観衆に勇気と感動をもたらしてくれる素晴らしいスポーツです。近年、多くの地域で続々と市民マラソン大会が開催されています。健康と元気をもたらすべきマラソン大会ですが、残念ながら心疾患による事故も散見されています。

スポーツ中の突然死の原因については心疾患が多いです。スポーツ参加のためのメディカルチェックにおいて、心疾患に直接関わる検査は安静時の心電図検査が推奨されているにとどまっています。また、参加禁止の条件については精密な心疾患の網羅はされているものの、それらの診断には専門的知識とスキルが必要な心エコーなどの検査が必須であり、具体的かつ簡便なスクリーニング検査の提案には至っていません。

BNP（脳性ナトリウム利尿ペプチド）は1988年に日本で発見された心臓由来のホルモンです。その血中濃度を測る検査は心機能の評価に有用な検査として心疾患患者のみならず、健康診断などのスクリーニングに広く利用されるようになりました。その測定は多くの病院や検査センターで実施されており、その場で測定出来る簡易測定キットも供給されています。

本セミナーにおいては市民ランナーにおけるBNP検査の有用性について、アスリートの日常のメディカルチェックおよび大会などの参加可否等を考察し、そのスクリーニング検査としての可能性についてご紹介したいと思います。